

広報

ふじ

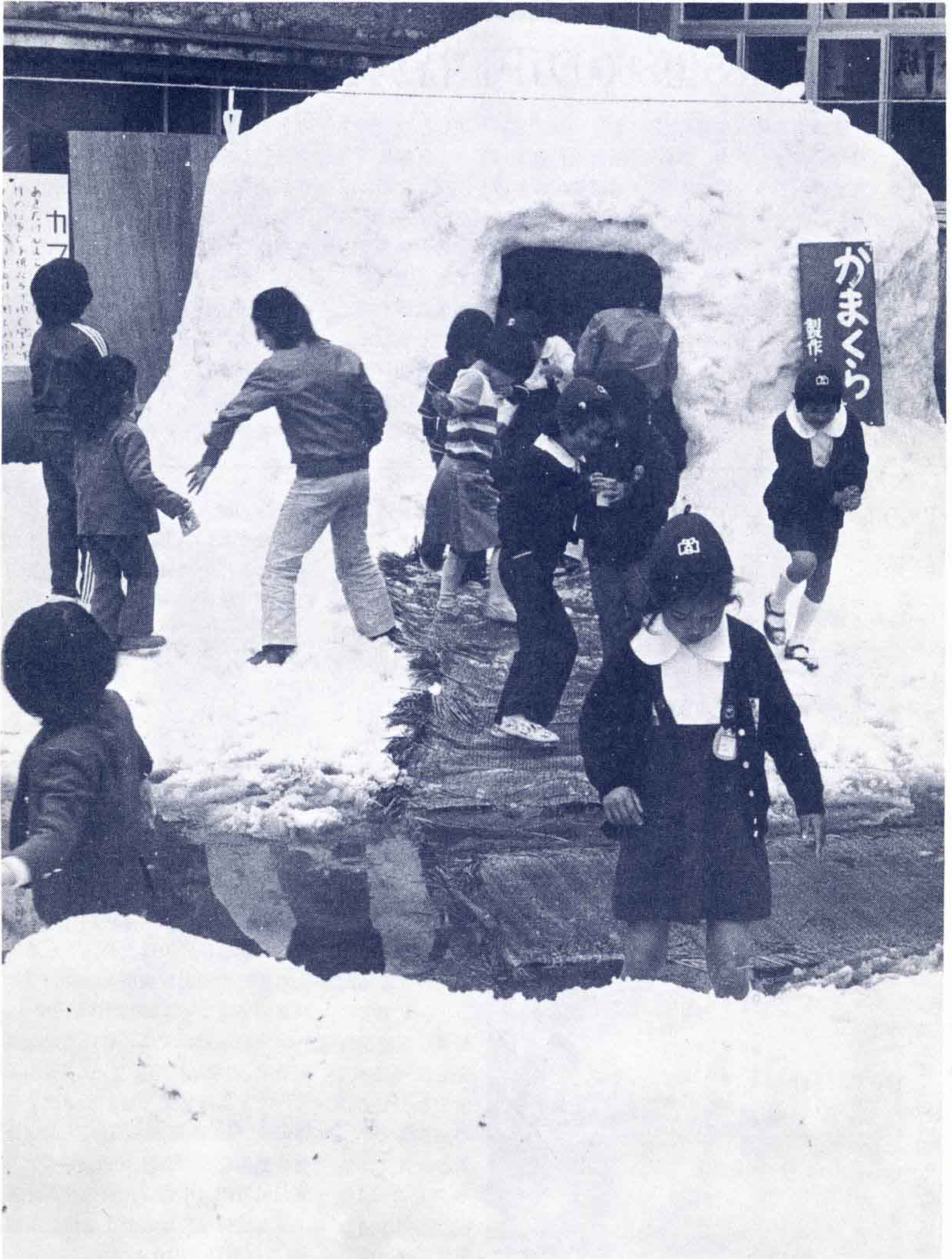
NO. 199

51.3.5 発行

発行・富士市役所
富士市永田61-1

編集・

企画調整部広報広聴課
【毎月5日と25日発行】



吉永地区文化祭に「かまくら」(吉永青年クラブが富士山五合目から運んだ雪で制作)

51年度当初予算案を

一般会計185億8600万円 特別会計87億7814万円

昭和51年度の予算編成作業を昨年11月からはじめましたが、さきごろ市長査定が終り各部課に内示を行いました。新年度予算は、きびしい地方財政を考え、50年度並の予算規模を想定し、堅実な財政維持に努め、市民のためにやらなければならない施策に重点をおいた予算編成となりました。

財源的には、50年度に引続いて市税収入の伸びが期待できない困

難な状況です。しかし、公害医療補償給付費をはじめ、各種扶助費の経費増に対応し、市民生活に直接関連のある道路や河川、下水道施設、教育施設などの整備事業を重点的な施策として取り上げました。特に国の景気回復政策も考え積極的な予算化をはかりました。

この結果、一般会計当初予算は185億8600万円、特別会計は87億7814万円、合計273億6414万円と

なりました。これを50年度当初予算と比較してみると、一般会計で7.6%、特別会計で3.6%、合計では5.9%の増加となりました。なお、5.9%の伸び率は合併後では最低となっています。

それでは、新年度予算の概要、重点事業の内訳を、現在策定中の富士市総合計画（シビルミニマム）に基づいた都市づくりの4つの課題別に分けてお知らせいたします。

いのちと健康を守る 施策は10億7425万円

いのちと健康を守る施策は、保健医療、救急、公害防止、交通事故防止などがあります。

保健医療関係では、公害病補償給付事業に4億7046万円、このうち補償法分が3億5243万円、市単独分が1億1803万円で、月平均の対象者は960人を見込んでいます。中央病院の医療機器の整備や運営費の助成に2億5750万円などです。

交通事故防止のためには歩道、道路照明灯、道路反射鏡などの交通安全施設の整備に6270万円などです。火災防止のためには、消防ボ

ンプ車の購入、防火水槽、消火栓の設置などに4095万円、災害防止のためには河川の整備事業に1億4505万円などです。

快適で住みよい豊かなまちをつくる 施策は56億7775万円

快適で住みよい豊かなまちをつくる施策は、住宅、市道整備、土地区画整理、上下水道、清掃、農林業などがあります。

住宅では第1種公営住宅建設事業（富士見台団地に5階建て80戸）に4億5037万円、勤労者の持家住宅建設資金融資事業に1億円などです。市道整備では、新設改良、舗装事業などに4億8262万円、街路整備では、都市

計画街路事業、街路用地取得事業に4億9300万円などです。土地区画整理では、富士駅周辺と依田原新田土地区画整理事業などに10億9700万円です。上水道では、第4次拡張事業、配水設備改良事業に4億2443万円です。下水道(路)では、公共下水道富士処理区処理場整備事業、都市下水路整備事業などに9億9563万円です。

公園緑地関係では、総合運動公園の造成、用地取得事業などに1億8300万円です。農林業では、須津第2農地保全、富士東部湛水防除、大淵畑地総合整備など県営土地改良事業に3億4431万円、小口貸付資金預託、商工中金貸付預託など商工金融対策事業に3億5471万円などです。



進む富士駅周辺の土地区画整理事業

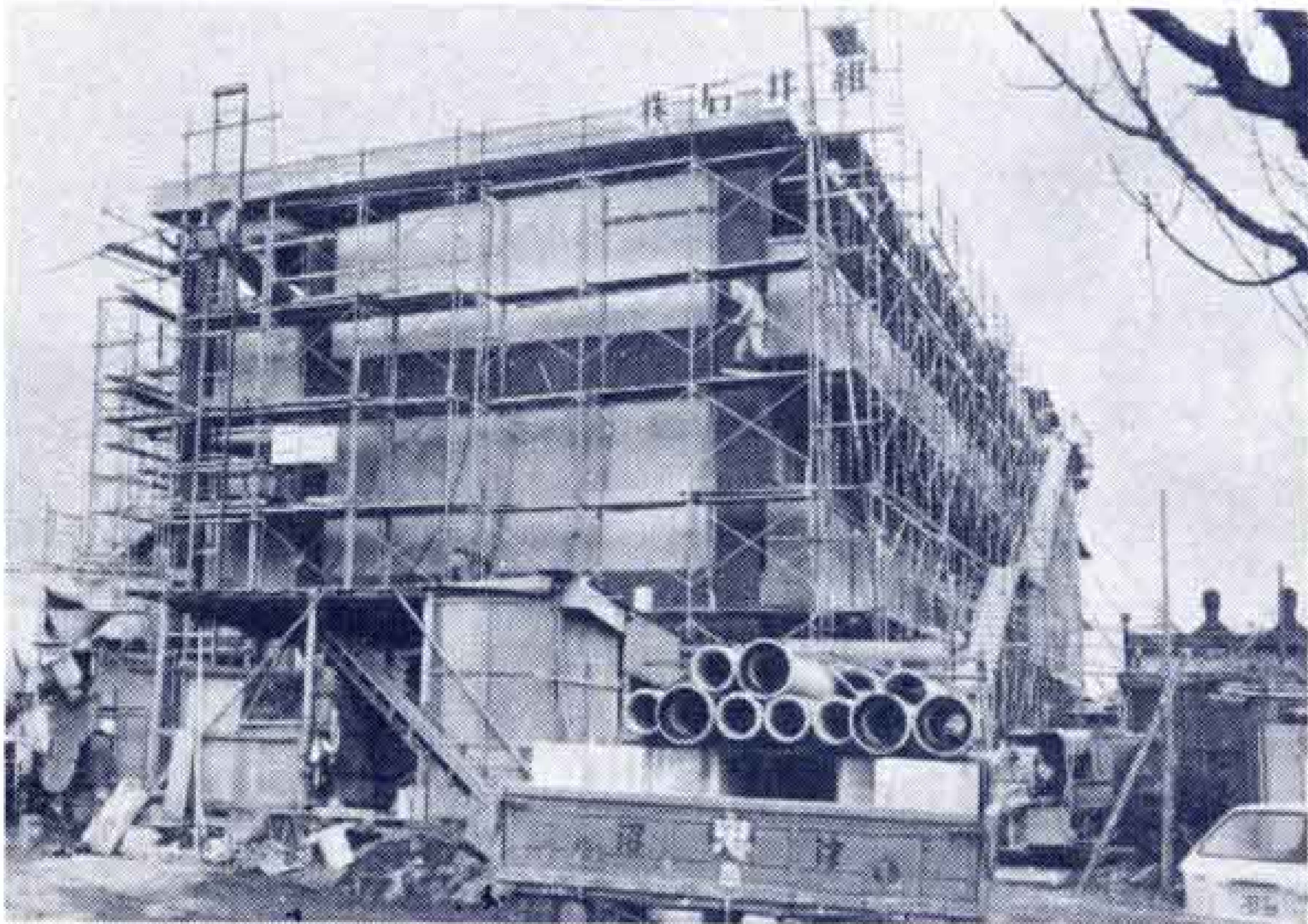
内示

こどもや老人などの生活を 守る施策は7億6504万円

こどもや老人などの生活を守るための施策はこどもと母親、老人、消費者、勤労者などがあります。

乳幼児の医療助成事業(対象人員3345人)に3675万円、老人医療費助成金支給

事業(国庫補助対象人員6080人、市単対象人員620人)に2億6343万円、そびな保育園増設事業に2842万円、公設地方卸売市場運営管理費に2億9440万円などです。



最後の仕上げを急ぐ岩松
小学校校舎建設

教育や文化の水準を高める施策は 31億9090万円

教育や文化の水準を高めるための施策は幼児教育、義務教育、高等学校、社会教育、社会体育などがあります。

幼児教育関係では田子浦幼稚園改築事業に9437万円、私立幼稚園PTA助成事業(1人年額1万円を12,000円に引上げ3600人分)に4320万円などです。

義務教育関係では、富士見台小学校(仮称)新設事業に4億8812万円、広見小学校屋内運動場新築事業に

8880万円、富士南小学校(仮称)用地取得事業に7億5000万円、岳陽中学校増築事業に2億8726万円、須津中学校改築事業に4億2592万円、文教施設整備用地取得事業(仮称天間小・富士中央小)に6億円などです。なお、富士見台小、岳陽中、須津中は52年度の債務負担行為分も含んでいます。

社会体育関係では、卓球場新築事業(プレハブ平家建129平方メートル)に1094万円、木の宮運動場公園テニスコート整備事業に480万円などです。

婦人教室で地域の問題 を市長と話し合い

市内16地区の婦人会員110名が出席して、2月25日「婦人教室」を市役所10階研修室で開き、渡辺市長と地域の問題について話し合いを行いました。

婦人達は昨年4月から、婦人の役割や地域の問題点などを話し合い、これまで自分達の力で解決できるものはどんどん解決してきました。それ以外のものも各種団体と話し合いを続けてきましたが、それでも解決できない問題を、この日の婦人教室に持ち寄って、市長と話し合いました。



まずはじめに連合婦人会として、山崎会長から婦人会館の建設、市のマイクロバス使用などについて出されました。続いて地区ごとに質問が出されましたが、元吉原からバイパス道路の経過について。吉原・広見は公民館の建設。伝法・鷹岡・原田から下水道計画について。須津から私立幼稚園の助成金についてなど、日常生活に密接に結びついたものばかりでした。

これに対し渡辺市長から問題点ごとにこまかな説明がなされ、2時間余りにわたって懇談を行いました。



【熱心に話しを聞く婦人たち】

生物相がら見た

東海大学に委託して調査

田子の浦水域の水質測定を昭和45年から毎月定期的に行っていますが、年ごとに良くなってきました。最近では、田子の浦港や河川のうちで、魚つりをしている人が多く見られ、コイやフナがつかれるようになりました。そこで市でもウナギやアユが潤井川へ上れるように河口へ魚の通る道をつくるよう県に申し入れ、県も工事を行っています。

昭和45～46年当時の田子の浦港を見ると、100万トン以上のヘドロが堆積し、硫化水素ガスが発生、魚はもちろん水生昆虫、ケイソウ類が生息

できるような状態ではありませんでした。河川についても一部をのぞいて汚れがひどく、魚など見られませんでした。47年

からはヘドロ処理や工場排水に基準が設けられ、きびしく監視するようになってしだいに良くなってきました。

そこで、水質調査だけでなく、49年からは水生昆虫類や



水生動物、ケイソウ類などの底生生物相調査を行うことになり、手はじめに東海大学に委託して、昨年3月まで行いました。その後も公害課で継続的に実施しています。

港では水生昆虫類は見られません

水生昆虫やケイソウ類などの生物を指標とする水質調査では、長期間にわたって対象域の水の中で生きていた生物を調べます。水の中に生活している生物は沢山種類があって、きれいな水でなければ生息できないものや、汚れのひどい中でも繁殖を続けるものもあります。したがって一定

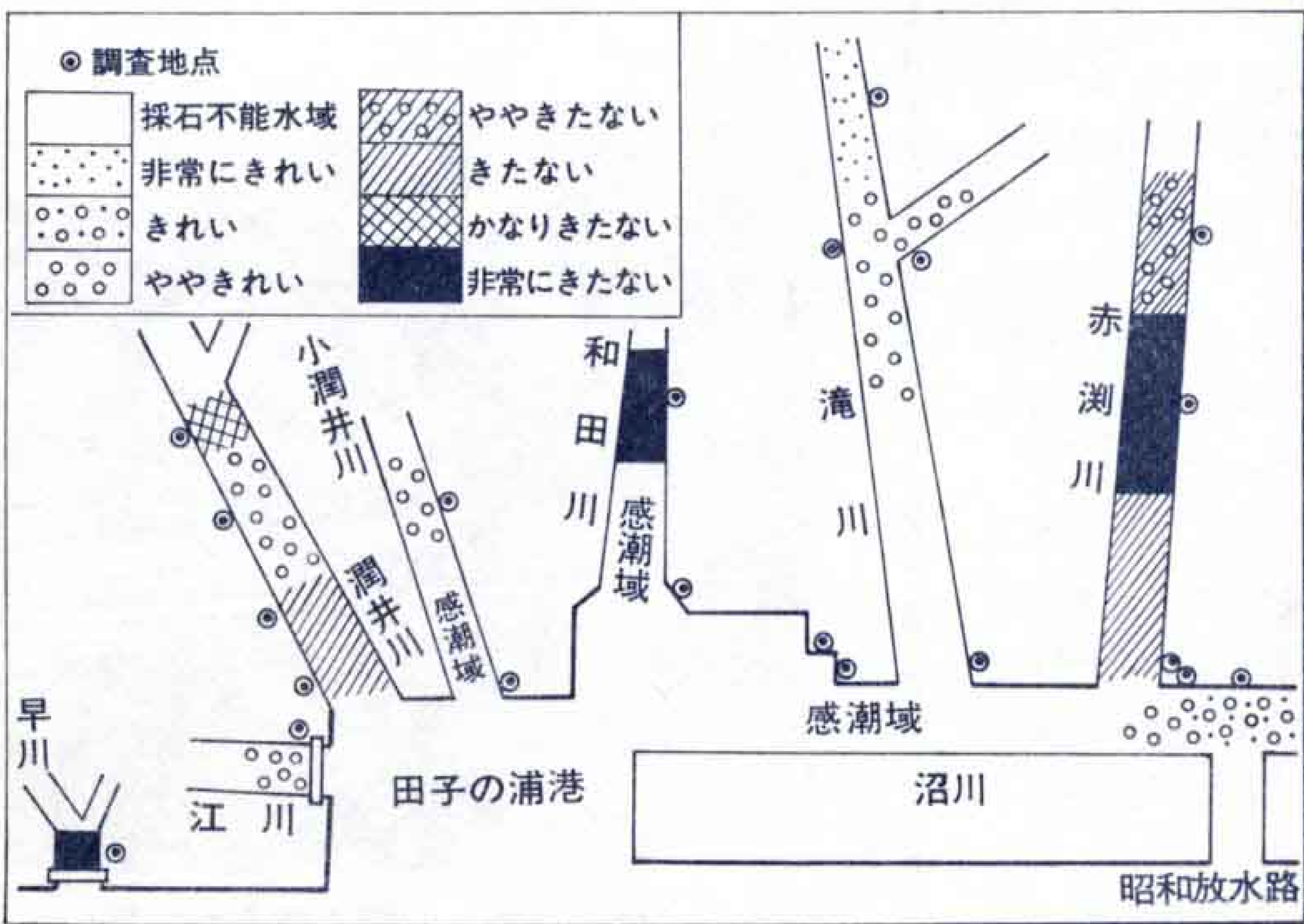
の水域で生息している種類を調べることによって、水の汚れがどの程度か知ることでも、逆にその水域の水の安全性を示すこともできます。

東海大学の調査で、水生昆虫類からみた水質判定による汚濁地図と付着性ケイソウ類による水質階級地図(下図)ができました。それによると

港周辺の河川は、水生昆虫類からみると「非常にきたない」という判定が出ています。また、ケイソウ類から見ると赤淵川、和田川が工場排水、家庭下水などで非常に汚濁されていることがわかりました。たとえば河川の場合、水生昆虫類でトビケラ、ユスリカ、カゲロウ、ミズムシなど、水生動物類でヒル、プラナリア、イトミミズ、ヒメモノアライガイなどです。港では水生昆虫類はみられず、イトゴカイ、コノハエビなどの水生動物類だけでした。

汚濁度

付着性ケイソウ類の汚濁指数による水質階級地図



県立普通科高等学校建設促進富士地区期成同盟会は、2月24日、第2回目の会合を市役所で開き、高校建設用地の決定、確保など今後のスケジュールについて話し合いました。

県立普通科高等学校建設促進富士地区期成同盟会

高校建設用地を9月までに確保

期成同盟会は昨年7月、富士市、富士宮市、芝川町の2市1町で、県立普通科高校の建設促進をはかるために設立し、これまで再三県知事及び関係機関へ陳情を行ってきました。しかし、誘致運動は富士地区だけでなく、県下の各地区から行われ、激しい誘致合戦が展開されました。

このため、県教育委員会は昨年11月、「高等学校整備中期計画県立高校新設計画」を発表し、順位づけを行いました。この計画は昭和60年を

メドにしたもので、設置順位は前期(55年まで)が、現在建設中の袋井に続き2校目が静岡、3校目が富士、以下西遠、田方、西遠学区で、後期は田方、富士、清庵、静岡、西遠学区の順となっています。

富士地区が3番目になった理由として県教育委員会は、同地区には県立普通科高校が4校だけで大規模校が多く、進学率の高いのに比べ学区外進学、あるいは私学依存度の高いことを上げています。しかし、新設

計画は建設順位を決めたもので、年度は明らかにされていませんでした

52年度開校を目標に 県へ働きかけ

そこで期成同盟会は、52年度開校を目標に県へ積極的に働きかけ、学校用地を先行取得し、受入れ態勢をかためることになりました。

これまでの調査で、必要な学校用地面積は49,500平方メートル。建設場所が市街化調整区域内でも高等学校の位置を決めることによって建設ができるなど、地域設定をするための資料づくりも進んでいます。また、建設用地を決める条件として、交通の便がよいところ。環境がよく十分な空間がある。通学時間が1時間程度のところ。2市1町の住民の賛成が得られるところとしています。

また、26日の話し合いで、2市1町の代表者で「用地選定小委員会」を設け、候補地を6月までに決める。県が52年度の予算編成をはじめの前に用地を確保するため、9月中に買収を行うことなど、今後の日程も決まりました。



【市役所で開いた期成同盟会の第2回会合】

犬の放し飼いは迷惑です

……いらない犬は保健所へ……

大きな犬が何匹も集まっているとほんとに恐いすね。犬を放し飼いだしたり、いらないからといって山林にすてたりすると、野生的になり人を襲うことがあります。また、田や畑の農

作物を荒したり、多くの人に迷惑をかけるので注意してください。

なお、いらなくなった犬は、富士保健所で毎月日時を決めて回収しています。3月後半の受

付けは、18日・24日・31日で午前中に行っています。



68店舗と学用品の価格協力

3月10日から4月10日まで

入学期を前に、学用品類の不当な値上がり心配されるため、富士市消費生活モニターが、市内で学用品を扱う小売店（51店）の価格調査を1月に行いました。調査品目は、クレヨン、水彩絵具、鉛筆など普段よく使う学用品10品目で、メーカー、規格を統一しましたが、価格の高低差はいずれも大きく、バラツキが目立っていました。

そこで、調査したデータをもとに富士市消費者運動連絡会は、「子供たちに、安い学用品を提供してほしい」と、富士市文具専門店会に申し入れ、価格の協力について話し合いを行ってきました。この話し合いで需要の多いクレヨン、絵具、色鉛筆、鉛筆、ノートの5品目について、3月10日から4月10日まで、価格協力を結ぶことになりました。

この価格協力の調印式を3月2日、市役所で行いましたが、協力店は68店舗になり、期間中消費者の目安として協力店の店頭価格表をつけたポスター（下の写真）を掲示します



価格協力店

期間・3月10日～4月10日

協力商品名	メーカー名	規格	協力価格
クレヨン	セクフ	12色	200
		18色	250
絵具	セクフ	12色紙箱入	350
		18色フタ付箱入	400
色鉛筆	セクフ	12色紙箱入	320
		12色紙箱入	240
鉛筆	トンホ	12色紙箱入	200
		40枚	90
ノート	1クコ	30枚	70

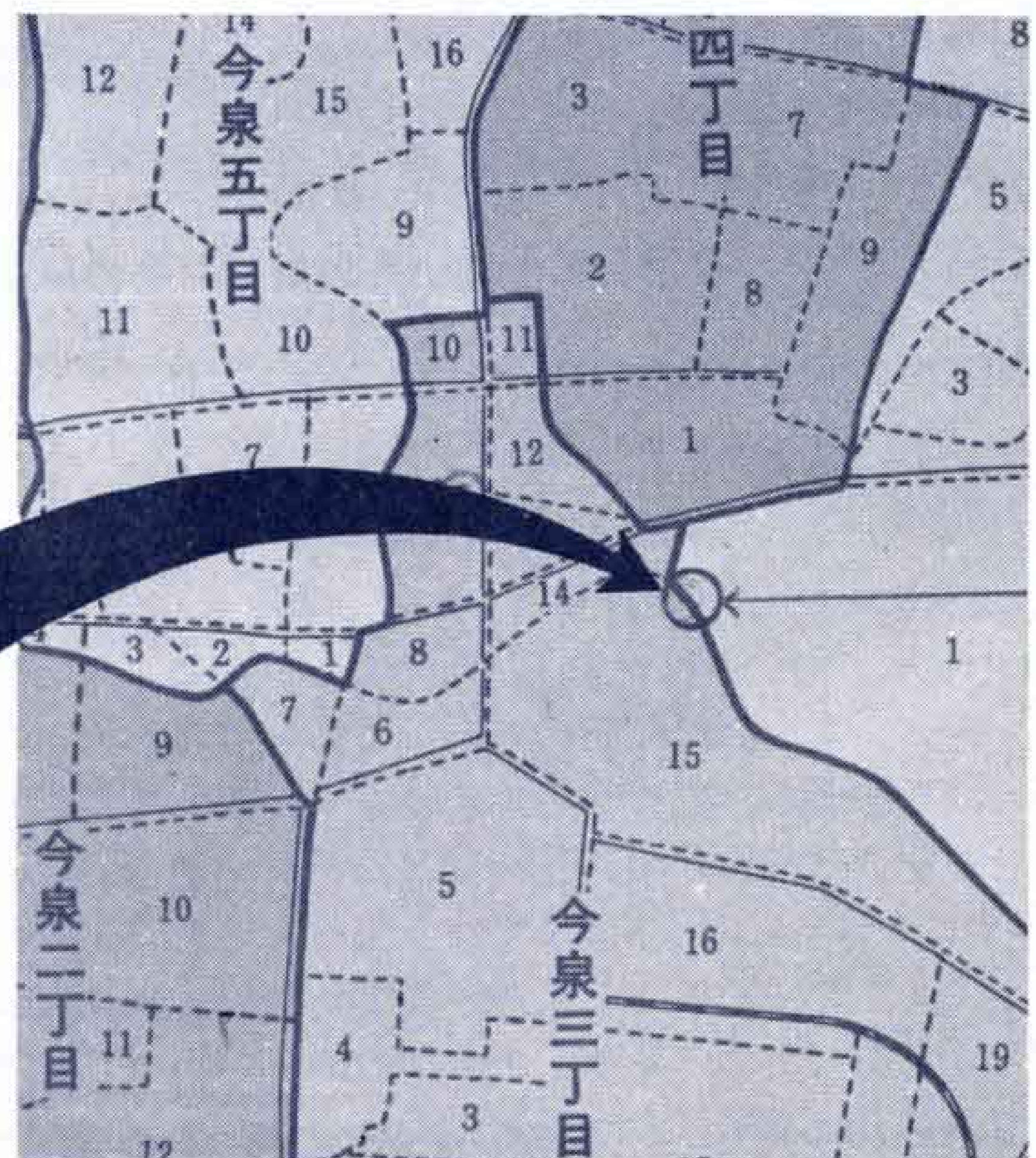
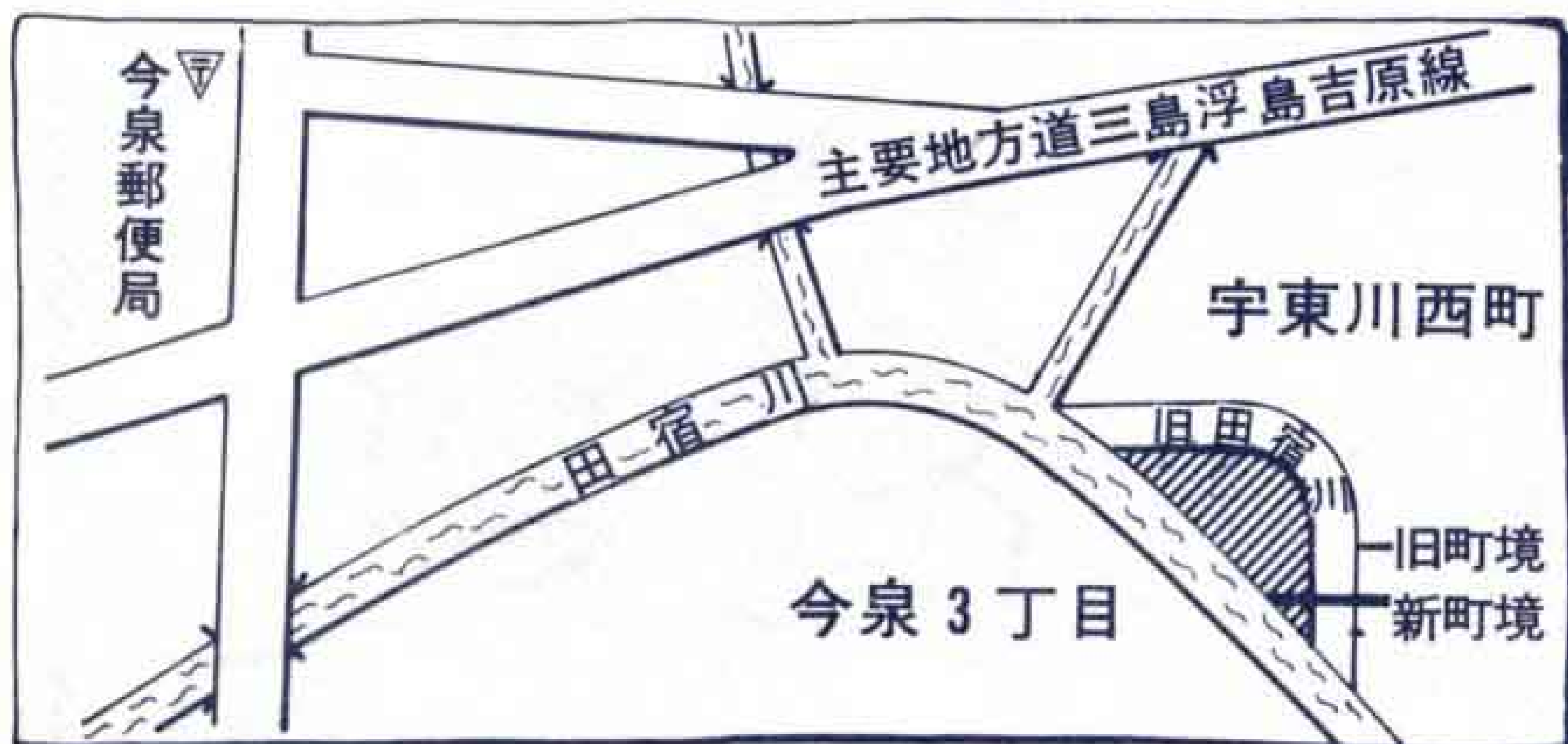
富士市消費者運動連絡会

【学用品の価格協力を調印】

町の区域を変更

今泉3丁目の一部が宇東川西町に

下の地図のように田宿川を改修したため、今泉3丁目と宇東川西町との町界が一部変わりました。町界変更は3月1日から、斜線の部分が宇東川西町になりました。





自慢の踊りやノドを ひろう

…老人クラブ演芸大会…

市内の老人クラブのお年寄りが、2月26日、吉原市民会館で「第2回老人クラブ演芸大会」を開きました。この日に備え、自慢の踊りやノドをひろうしようと出演者は猛練習——出しものも歌謡曲から民謡、浪曲、詩吟、手品とバラエティーに富み、熱演に客席から大きな拍手が送られていました。

■公園の草花も春の装い、ラッパ水仙も3月中旬には咲きそろいます（吉原公園）



プロパンガスの取扱 いは十分注意を

プロパンガスの事故が相次いで起こっているため、市消防本部予防課は、市内のプロパンガス製造所や販売店の立入検査を行いました。検査では、なれによる管理の不十分なものや取扱い上危険なものもあり、その都度改善するように申し入れしました。なお、これまでプロパンガスによる事故のほとんどが一般家庭で起こっていますので、台所やお風呂場などガスの取扱いに十分注意してください。





道ばたの神様

ふるさと の歴史



道祖神は、げんろく時代にたくさん造られました。最近、あちこちに新しい道路ができたり、ほそくされたりして、道祖神がなくなったり場所が変わったりしています。ですからどのくらい残っているのかあまりはっきりしていません。

富士山麓には、男の神様と女の神

様2人をほった双体（そうたい）道祖神が多いそうです。市内にも、40くらいは残っているようです。みんなの家の近くにもありませんか。

昔の人達が、たくさんの願いごとをした道祖神、今ではすっかり忘れられてしまいましたが、いつもやさしくかわいらしい顔をして、ひっそ

り道を守ってくれています。「交通事故の多いこのごろ、交通安全の神様としたらどうでしょう」と鷹岡にある富士文庫の先生がおっしゃっていました。

昔の人が私達に残した道祖神、これからも大切に守っていきましょう



単体道祖神



双体道祖神



文字碑道祖神

丸火自然公園に森のスポーツ道

丸火自然公園に森のスポーツ道ができたけど、みんな知ってるかな。自然の中を歩きながら体力づくりをしておうとつくったもので、大広場や遊歩道ぞいに、丸太やロープ

を利用した施設があります。スポーツ施設は、ターザンロープやロープジャングル、アリ地獄、つり橋、谷渡りロープ、バランスロープ、降下棒

はんとう棒などで21カ所あります。それぞれの施設に利用方法などを書いた看板をつけてありますが、いろいろくふうしながら遊んでください

ふじやま学園で生活発表会

ふじやま学園で2月26日、学習の成果を発表する「生活発表会」を行いました。

楽器演奏や動く紙しばい、劇など一生けんめい勉強したものをひろうしたり、切り絵、タイル細工など工芸品を展示し、お父さんやお母さんに見てもらいました。

